平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名　株式会社 平和　　上場取引所　東
コード番号 6412　URL http://www.heiwanet.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 嶺井 勝也
問合せ先責任者　(役職名) 管理本部経営企画グループゼネラルマネージャー　(氏名) 高木 幹悦　TEL 03-3839-0701

四半期報告書提出予定日　平成26年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	130,410	△9.1	29,032	△7.2	28,380	△15.8	15,782	△28.3
25年3月期第3四半期	143,512	157.5	31,293	108.0	33,717	57.1	22,016	49.0

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　18,050百万円　(△24.0%)　25年3月期第3四半期　23,754百万円　(62.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	184.29	183.87
25年3月期第3四半期	257.72	257.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	418,424	153,402	33.3	1,624.16
25年3月期	417,057	141,182	30.8	1,501.31

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　139,135百万円　25年3月期　128,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	30.00	―	40.00	70.00
26年3月期	―	30.00	―		
26年3月期(予想)				30.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	182,400	3.0	33,900	△1.6	31,700	△10.9	19,000	△5.6	222.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3頁「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	99,809,060 株	25年3月期	99,809,060 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	14,143,192 株	25年3月期	14,238,692 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	85,637,816 株	25年3月期3Q	85,425,980 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。
(四半期決算補足説明資料の入手方法)
四半期決算補足説明資料は当決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策を背景に円安・株高が進み、企業収益や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、景気は回復基調で推移いたしました。

遊技機業界におきましては、集客や稼働の伸び悩みによりパチンコホールの経営環境は依然として厳しく、パチンコホールにおける新機種入替えは、大型タイトルや人気シリーズ機等の話題性の高い一部の機種に集中する傾向にあります。

ゴルフ業界におきましては、天候不順の影響や他社との競争により顧客単価の下落が継続しているものの、ゴルフ場来場者数は景気回復の後押しもあり堅調に推移しております。

このような環境下、遊技機事業におきましては、ヒット機種の開発とブランド力の向上を図るために、市場のトレンドをいち早く遊技機開発に反映するための体制作りや新規性のあるアイデアを搭載した遊技機の開発、コンテンツの取得・育成に向けた取り組みを推進いたしました。また、当社が建設を進めておりました新社屋「平和本社ビル」が平成25年11月に竣工いたしました。複数拠点に分散していた遊技機開発部門を新社屋へ集約することで業務の効率化を図り、加えて開発環境を向上させることにより開発力の強化を図ります。

ゴルフ事業におきましては、新たなポイントプログラムの導入や、予約センターの新規開設等の取り組みにより収益力向上及び業務改善に努めました。また、平成25年11月に当社と子会社のＰＧＭホールディングス㈱が共同主催する男子プロゴルフツアー「ＨＥＩＷＡ・ＰＧＭ ＣＨＡＭＰＩＯＮＳＨＩＰ in 霞ヶ浦」を茨城県の美浦ゴルフ倶楽部にて新規開催いたしました。本大会は、若手ゴルファーやアマチュアゴルファーへ出場機会を設けており、将来のゴルフ界を背負う人材の発掘・育成に寄与することが期待されます。加えて、ＰＧＭホールディングス㈱として、平成26年12月期を初年度とする３カ年の中期経営計画を策定し、「新規Ｍ＆Ａ」、「収益の極大化」、「会員満足度の向上」の基本戦略のもと、更なる成長を目指してまいります。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における業績は、売上高130,410百万円（前年同期比9.1％減）、営業利益29,032百万円（前年同期比7.2％減）、経常利益28,380百万円（前年同期比15.8％減）、四半期純利益15,782百万円（前年同期比28.3％減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（遊技機事業）

遊技機事業におきましては、パチンコ機「戦国乙女３ 乱」、「ラブ嬢プラス」、「ルパン三世 消されたルパン」等を発売し、販売台数141千台（前年同期比77千台減）となりました。なお、「ルパン三世 消されたルパン」は、市場から高い評価を得ており、第４四半期以降も受注が継続しております。パチスロ機は「キャッツ・アイ コレクション奪還作戦」、「戦国乙女 剣戟に舞う白き剣聖」、「ラブ嬢」の発売に加え、前期に発売した「アントニオ猪木が伝説にするパチスロ機」の販売の一部が当期に計上されたことにより、販売台数68千台（前年同期比26千台増）となりました。

以上の結果、売上高68,633百万円（前年同期比15.7％減）、営業利益20,508百万円（前年同期比6.0％減）となりました。

（ゴルフ事業）

ゴルフ事業におきましては、共通ポイントサービス「Ｔポイント」を当社グループのゴルフ場の新たなポイントプログラムとして導入いたしました。さらに、予約センターを新規開設し、ゴルフ場毎に受けていたプレー予約の電話を予約センターに集約させることで業務の効率化を果たしました。また、上記中期経営計画における成長戦略として新たに３カ所のゴルフ場を取得し、平成25年10月より運営を開始いたしました。

以上の結果、売上高59,818百万円（前年同期比0.4％減）、営業利益10,685百万円（前年同期比11.1％減）となりました。

（その他）

その他の事業として、情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を行い、売上高1,958百万円（前年同期比5.4％減）、営業利益130百万円（前年同期比16.9％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は130,754百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,231百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が5,572百万円、有価証券が8,564百万円減少したこと、現金及び預金が6,714百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は287,669百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,598百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が9,957百万円増加したこと、投資有価証券が1,092百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、418,424百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,366百万円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は62,361百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,866百万円減少いたしました。これは主に1年内償還予定の社債が7,984百万円、未払法人税等が3,965百万円、その他流動負債が4,429百万円減少したこと、支払手形及び買掛金が6,086百万円、1年内返済予定の長期借入金が4,337百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は202,660百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,987百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が12,632百万円減少したこと、社債が8,000百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、265,021百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,854百万円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は153,402百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,220百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益15,782百万円及び剰余金の配当5,992百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は33.3％（前連結会計年度末は30.8％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の連結業績予想につきましては、平成25年５月14日に公表した連結業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,549	81,264
受取手形及び売掛金	20,119	14,547
電子記録債権	―	1,064
有価証券	21,003	12,438
商品及び製品	3,469	3,482
原材料及び貯蔵品	4,673	5,391
その他	14,653	13,040
貸倒引当金	△483	△474
流動資産合計	137,985	130,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,983	54,927
土地	184,363	188,701
その他（純額）	12,954	13,629
有形固定資産合計	247,300	257,257
無形固定資産	4,253	4,421
投資その他の資産		
投資有価証券	18,647	17,554
その他	9,455	9,010
貸倒引当金	△585	△574
投資その他の資産合計	27,517	25,990
固定資産合計	279,071	287,669
資産合計	417,057	418,424
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,743	20,829
短期借入金	3,000	3,000
1年内返済予定の長期借入金	18,635	22,973
1年内償還予定の社債	7,984	―
未払法人税等	6,118	2,153
引当金	1,798	887
その他	16,946	12,516
流動負債合計	69,227	62,361
固定負債		
社債	―	8,000
長期借入金	142,611	129,979
退職給付引当金	4,954	5,017
その他	59,081	59,662
固定負債合計	206,647	202,660
負債合計	275,875	265,021

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,755	16,755
資本剰余金	53,097	53,109
利益剰余金	72,379	82,168
自己株式	△15,603	△15,498
株主資本合計	126,628	136,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,797	2,436
繰延ヘッジ損益	41	163
その他の包括利益累計額合計	1,838	2,600
新株予約権	108	75
少数株主持分	12,606	14,192
純資産合計	141,182	153,402
負債純資産合計	417,057	418,424

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	143,512	130,410
売上原価	90,414	76,614
売上総利益	53,098	53,795
販売費及び一般管理費	21,804	24,763
営業利益	31,293	29,032
営業外収益		
受取利息	269	216
受取配当金	134	230
負ののれん償却額	4,301	－
その他	657	844
営業外収益合計	5,362	1,291
営業外費用		
支払利息	1,804	1,534
投資事業組合運用損	99	－
減価償却費	60	55
支払手数料	717	133
その他	256	221
営業外費用合計	2,938	1,944
経常利益	33,717	28,380
特別利益		
固定資産売却益	145	154
受取補償金	197	2,547
新株予約権戻入益	108	0
その他	16	155
特別利益合計	468	2,857
特別損失		
固定資産売却損	73	－
固定資産除却損	392	228
投資有価証券評価損	0	－
有価証券評価損	－	2,000
減損損失	738	241
特別損失合計	1,204	2,470
税金等調整前四半期純利益	32,980	28,767
法人税等	9,832	11,508
少数株主損益調整前四半期純利益	23,148	17,259
少数株主利益	1,132	1,477
四半期純利益	22,016	15,782
少数株主利益	1,132	1,477
少数株主損益調整前四半期純利益	23,148	17,259

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	589	639
繰延ヘッジ損益	15	151
その他の包括利益合計	605	790
四半期包括利益	23,754	18,050
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,618	16,543
少数株主に係る四半期包括利益	1,135	1,507

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	遊技機事業	ゴルフ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	81,385	60,056	141,442	2,070	143,512
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	85	85	28	114
計	81,385	60,141	141,527	2,099	143,626
セグメント利益	21,820	12,015	33,835	111	33,947

（注）　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	33,835
「その他」の区分の利益	111
セグメント間取引消去	△16
全社費用（注）	△2,637
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	31,293

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ゴルフ事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなるため、ゴルフ場資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として、特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間において738百万円であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	遊技機事業	ゴルフ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	68,633	59,818	128,451	1,958	130,410
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	20	20	28	49
計	68,633	59,839	128,472	1,987	130,459
セグメント利益	20,508	10,685	31,194	130	31,325

（注）　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	31,194
「その他」の区分の利益	130
セグメント間取引消去	1
全社費用（注）	△2,294
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	29,032

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ゴルフ事業」セグメントにおいて、ゴルフ場資産グループの回収可能価額を著しく低下させる変化が生じたことに伴い、当該ゴルフ場資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として、特別損失に計上いたしました。

なお、ゴルフ事業においては原則ゴルフ場別にグルーピングをしており、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間において241百万円であります。